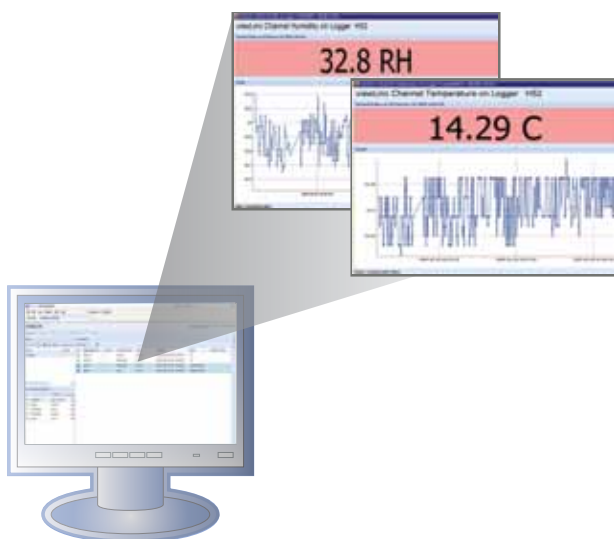


ユーザー ガイド

viewLinc 3.6

バイサラ ベリテック viewLinc ソフトウェア



著作権

著作権 © 2011 Vaisala Canada Inc. 著作権所有。

Vaisala Canada Inc. の書面での明示された許可なしで商用目的での本文書の全部あるいは一部の複製、配布、出版、変更、あるいは編入を行うことは許可されません。

Vaisala Canada Inc.
13775 Commerce Parkway
Richmond, BC V6V 2V4
Canada

商標

Vaisala Canada Inc.、バイサラ ベリテック、バイサラ ベリテック vLog、バイサラ ベリテック viewLinc、およびバイサラ ベリテック Spectrum は Vaisala Canada Inc の登録商標です。

Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。

すべてのその他の各商標は、それらの各自所有者の所有物です。

免責および責任の制限

Vaisala Canada Inc およびその各関連会社は、本マニュアルの使用から派生するいかなる損害あるいは損失について一切責任を負いません。

Vaisala Canada Inc およびその各関連会社は、本ソフトウェアの使用で潜在的に発生する可能性もある各サード パーティによるいかなる損害あるいは請求について一切責任を負いません。Vaisala Canada Inc およびその各関連会社は、ハードウェア誤動作の結果としてのデータの削除による起因するいかなる損害あるいは損失について一切責任を負いません。データ損失を防止するためにすべての重要データの各バックアップ コピーの作成を徹底されるようお願いいたします。

Vaisala Canada Inc は、バイサラ ベリテック データ ロガー、バイサラ 300 シリーズ送信機、またはソフトウェア、その市販性、あるいはその特定目的への適合性に関連して明示されるか、あるいは包含されるかのいずれにおいても一切保証を行いません。この包含される各保証項目の除外は、いくつかの州によって許可されていません。かような場合には、この除外はお客様に適用されない場合もあります。

Vaisala Veriteq は、さまざまなネットワーク システムを使用して試験されています。しかしながら、可能であるハードウェアおよびネットワークの各構成の膨大な組み合わせの数は、それぞれの状況下での試験を不可能にしています。バイサラ ベリテック viewLinc ソフトウェアを使用している問題がある場合には、Vaisala Canada Inc にご連絡ください。

技術サポート

北米地域においての技術サポートについては、1-866-861-3388 にお電話いただくか、または北米地域以外のお客様については、「第 3 章: 始める前に」の ページ 1 をご参照ください。

電子メール veriteqsupport@vaisala.com

文書管理番号: M211346JA-A

発効日付: April 2011

内容

第章:始める前に	1
viewLinc システムの概説	2
ViewLinc へのログイン	3
ヘルプの表示	5
第章:チャンネル	7
チャンネルについて	8
チャンネルとは何ですか?	8
「マイ チャンネル」はどこにあるのですか?	8
チャンネル画面を理解する	9
ラージ チャンネル ビューを開く	11
各リアルタイムのグラフ	11
ラージ チャンネル ビューでのグラフの読み取り	12
ラージ チャンネル ビュー内でのグラフ	
詳細の表示	13
ラージ チャンネル ビューからのアラームの受信確認	14
チャンネル カラムの整理	15
チャンネル カラムの非表示および表示	15
第章:アラーム	17
アラームについて	18
アラームがトリガーされると何が起きるのですか?	19
アラームの受信確認	20
第章:イベント	23
イベントの表示	24
イベントへのコメントの追加	25
イベント ログの印刷	25
「イベント ログ」のエクスポート	26

第章:レポート	27
履歴データについて	28
履歴データ レポートの生成	28
アラーム履歴レポートの生成	28
チャンネル履歴レポートの生成	30
目次	35

第章 : 始める前に

本セクションに含まれている項目 :

- viewLinc バイサラ ベリテック継続的監視システム (CMS)
- 状態を監視するにはインターネット ブラウザーから viewLinc にログインする

viewLinc システムの概説

ようこそ viewLinc 3.6 へ。viewLinc を使用することで、サポートされているバージョンの Microsoft® Internet Explorer® または Mozilla® Firefox® インターネット・ブラウザを使用してネットワーク経由で Veriteq データ ロガー読み取り値をローカルで簡単に監視することが可能です。

viewLinc 3.6 で可能な各機能：

- ローカルまたはリモート PC から複数データ ロガーからのリモート状態の監視
- グラフィック形式でのリアルタイム データの表示
- 履歴データの生成およびアラーム レポート
- モニター中の状態が準拠外であるかまたはネットワーク通信の問題が発生している場合での、可視化アラームまたは電子メール・アラームの受信
- アラームがトリガー、受信確認されたか、またはロガー通信問題が発生中である場合に、文書化済みロガー イベントを自動的に解析
- バイサラ ベリテック ロガー データ（「履歴データ」としても参照される）のバイサラ ベリテック Spectrum または vLog ソフトウェアと併用して表示およびグラフ化するための転送をスケジュール
- 稼働している各ロガーまたは各ゾーンを容易に識別
- アラーム通知用の事前構成済みのコメントの作成

インストールされると、viewLinc バイサラ ベリテック CMS は、各ソフトウェア コンポーネント (viewLinc を含む)、および各ハードウェア コンポーネント (データ ロガー、サポート済みのインターネット ブラウザーを持つ PC、および各ロガーの PC への接続形式に基づきいくつかのケーブルなど、バイサラ ベリテック vNet または Digi ネットワーク デバイスを含む) で構成されています。

担当の管理者がご利用の目的に最適な方法で viewLinc のインストールを決定します。Firefox 3.5 またはそれ以降のバージョンまたは Internet Explorer 6.0 またはそれ以降のバージョンがインストールされたユーザー PC 上でログインすることで viewLinc との対話が可能になります。すぐにログインしてみましょう。

ViewLinc へのログイン

viewLinc が可能とする機能：

- ロガーにより記録されている状態および viewLinc 履歴データベース内に記録されている状態の監視 (温度および相対湿度など)。
- 条件が既定の設定の範囲外であるか、または通信障害が発生しているかしている場合のアラームの受信

[ログイン] してください。サポートされるインターネット ブラウザーは、Microsoft Internet Explorer 6.0 またはそれ以降、または Mozilla Firefox 3.5 またはそれ以降を含んでいます。

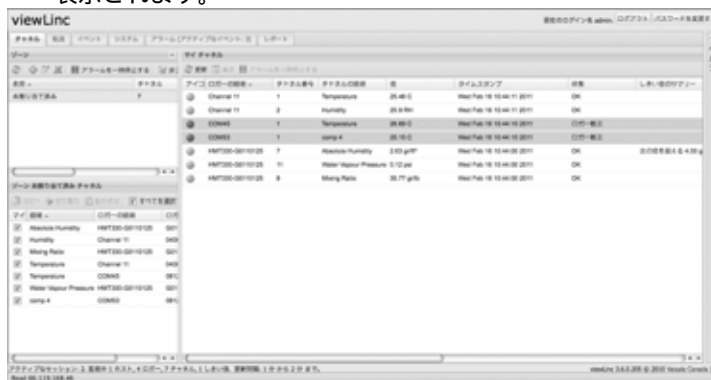
viewLinc へのログイン方法：

- 1 デスクトップ上のアイコンをダブルクリックします [VA](#)。
- 2 または、サポート済みのインターネット ブラウザーのアドレスボックス内に、viewLinc がインストールされているコンピューターの名前または IP アドレス、およびそのポート番号を入力してください。担当の管理者が正確なアドレスを提供します。例：http://computername:portnumber (何もポート番号が指定されない場合、ポート番号 80 (:80) がデフォルトで使用されます)。
- 3 ログイン画面に、ご使用のユーザー名およびパスワードを入力してください。[ログイン] をクリックしてください。



The screenshot shows a web browser window titled "viewLinc にログインする". It contains a login form with two text input fields. The first field is labeled "ユーザー名:" and contains the text "admin". The second field is labeled "パスワード:" and contains a series of asterisks "*****". To the right of the password field is a button labeled "ログイン".

- 4 メイン viewLinc 画面が現れて、利用可能なチャンネル、または (当初にログインされた場合) 空白の「マイ チャンネル」画面が表示されます。



チャンネル データが何も見られない場合には、[チャンネル] タブに移動してください。「ゾーン」エリア内で、リストからチャンネルを選択して、[更新] をクリックしてください。ここで選択済みのチャンネルのデータが表示されるようになります。

何もチャンネルが表示されない場合、ご使用のデータ ロガーが適切に接続されていない可能性があり、ご利用になるチャンネルが割り当てられていない場合か、または viewLinc 自体に障害が発生しているかの可能性があります。以下の場合には担当の管理者に報告してください。

注意： 担当の管理者が、システム セキュリティ確保の目的でご使用のパスワードを確認するためのダイアログを定期的に表示させるよう設定している場合もあります。ダイアログが表示された場合、ご使用のパスワードを再入力してください。

チャンネルに関する詳細については、第章：チャンネルをご参照ください。

ヘルプの表示

サポートを必要とされる場合は、技術サポートがご利用可能です：

北米

Vaisala Canada Inc.、午前 8 時 ~ 午後 4 時 太平洋標準時間 月曜日 ~ 金曜日、+1-866-861-3388 (または +1-604-273-6850) (いずれも現地電話番号) または電子メール veriteqsupport@vaisala.com までご連絡お願いいたします。 www.vaisala.com/veriteq もあわせてご参照ください。

セールス、価格設定、お見積り、または一般的情報についてのお問い合わせは、+1-800-683-8374 (または +1-604-273-6850) (米国電話番号) までご連絡お願いいたします。

北米以外：

helpdesk@vaisala.com

バイサラ本社 (フィンランド)

Vanha Nurmijärventie 21
01670 Vantaa
FINLAND
Industrial Instruments
電話：+358 9 8949 2658
ファックス：+358 9 8949 2295

日本サービス センター

東京都
新宿区
神楽坂 6 丁目 42
郵便番号 162-0825
電話：03 3266 9611
ファックス：03 3266 9610

中国サービス センター

中国
北京市
朝陽区
東三環北路霄雲路 21 号、
郵便番号 100027
電話：+86 10 5827 4100
ファックス：+86 10 8526 1155

第章：始める前に

第章：チャンネル

本セクションは管理者および一般ユーザー向けです。

このセクションにおける学習事項：

- チャンネルおよびゾーン
- 「マイ チャンネル」内の表示のためのチャンネルおよびゾーンの選択
- ラージ チャンネル ビューを開く
- ラージ チャンネル ビュー内でのリアルタイム グラフの表示および作業

viewLinc 内でのチャンネルの取り扱いについて学習を始めます。

チャンネルについて

チャンネルとは何ですか？

インストールされた バイサラ データ ロガーに依存して、1 つのロガーが温度、相対湿度、電圧および/あるいは電流の測定に利用可能な 5 つのチャンネルを所有しています (1 つのチャンネルが各測定のタイプに使用されます)。

注意： 300 シリーズ送信機出力の数がチャンネルとして表示されます。


各チャンネルは、測定中であるデータのタイプを表示しています。viewLinc を使用して、そのネットワークに接続されているあらゆるデータ ロガー チャンネルを監視することができます。

最初に viewLinc にログインされると、チャンネル ウィンドウが表示されます。このウィンドウで表示される各項目：

- 監視用に利用可能なゾーン
- 選択済みゾーン用に利用可能なデータ ロガー チャンネル
- アクティブな監視チャンネルおよび実際のチャンネル データ
- しきい値インジケータ
- 状況に応じたヘルプ

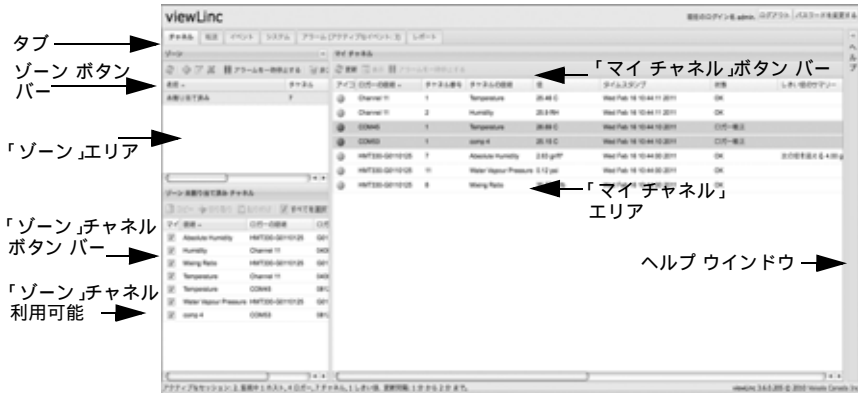
「マイ チャンネル」はどこにあるのですか？

「マイ チャンネル」エリア内に何もチャンネルが見つからない場合、以下の原因が考えられます：

- 選択済みのゾーンまたはチャンネルが存在していない。「ゾーン」エリア内で、少なくとも 1 つのチャンネルまたはゾーンがその側のチェックボックスで選択済みであることを確実にしてから、「マイ チャンネル」エリア内の  **[更新]** をクリックしてください。
- ご使用のロガーが適切に接続されていない可能性があります。担当の管理者に報告してください。

チャンネル画面を理解する

viewLinc 内の「チャンネル」画面には多くの重要な機能が含まれています：



アイテム	詳細
タブ	メイン viewLinc タブに含まれる項目：チャンネル、転送、イベント、システム アラーム、アラーム、レポート。
「ゾーン」ボタンバー	[更新]、[アラームの一時停止]、その他などを含んでいます。
「ゾーン」エリア	ゾーンの構成が行われる場所です。各ゾーンを使用して viewLinc に接続されている可能性のある多くのチャンネルを整理します。
利用可能な「ゾーン」チャンネル	1つの選択済みゾーン用に利用可能なデータロガーチャンネルの一覧。
「マイチャンネル」エリア	チャンネル構成の詳細、現在のデータ読み取り値、直近のタイムスタンプおよびしきい値アラーム設定情報が含まれています。

表 1: 「チャンネル」画面の重要な要素

「マイ チャンネル」は、ご使用の各ロガーおよび各チャンネルの一般的情報を表示しています。ほとんどのカラムはすぐご理解いただけると思いますが、viewLinc の理解を深めるためのいくつかの定義項目を説明します。すべてのオプションを表示するには、「チャンネルカラムの非表示および表示」、ページ 15 をご参照ください。

カラム	表示項目
ゾーン	ゾーンに整理されているチャンネルが含まれているチャンネルです。
ロガーの説明	ロガーの説明 ([システム] タブから編集可能)。
チャンネル番号	目的とするロガーを代表する番号 (各ロガーは 1 つ以上のチャンネルを保有しており、これらを 1、2 というようにラベルを付けています)。
チャンネルの説明	チャンネルの説明 ([システム] タブから編集可能)。
値	目的とするチャンネルの値、例：摂氏表示での温度。
タイムスタンプ	直近のチャンネル読み取りが実行された時刻
状態	現在アクティブなアラームが存在しない時、[OK] が現れます。1 つのしきい値アラーム条件またはあらゆるそのほかのアラームが検出されている場合を表示するために変化します。
しきい値のサマリー	しきい値状態のサマリー、アクティブな場合
アラームの実行	このチャンネルまたはロガーが現在アラームを発生させているのかどうかを表示します (1 つのアラームしきい値に到達している状態)。


表 2: 「マイ チャンネル」内の各カラムの情報

ラージチャンネルビューを開く

このウィンドウには、このチャンネルの直近のデータ読み取り値、あらゆる関連したしきい値設定、最近の履歴データのグラフィカル表示、および 1 つのアクティブなアラームを表示するための 1 つのエリアが含まれています。

注意： 単一のウィンドウ内で 1 つの特定のチャンネルを表示するか、または複数のチャンネルウィンドウを開くことが可能です。Internet Explorer をご使用の場合には、新しいウィンドウまたはタブ内で新しいリンクを開くように設定されていることを確実にしてください。[ツール] | [インターネット オプション] と移動してから、[全般] タブ上のタブ セクションで、[設定] をクリックして、「他のプログラムのリンクを開く方法:」で [現在のウィンドウの新しいタブ] を選択します。

ラージチャンネルビューを開く方法：

- 1 「マイチャンネル」エリア内の [チャンネル] タブから、表示したいチャンネルを選択してください。
- 2  [表示] または選択済みのチャンネルのラインをダブルクリックします。
選択済みのチャンネルについての情報を含んでいる新しいサイズ変更可能なウィンドウが現れます。
- 3 複数のラージチャンネルビューを表示するにはステップ 1 および 2 を繰り返します。


ラージチャンネルビューを閉じるには、そのウィンドウの上部右隅にある [閉じる] ボックスをクリックします。

1 つのアラームを受信確認するには、「アラームの受信確認」、ページ 20 をご参照ください。

各リアルタイムのグラフ

viewLinc では、いつでもライブデータをグラフィカルに表示可能です。各グラフは最後の 300 または 1000 のデータポイント（ロガーに設定されたサンプル取得間隔およびご使用のインターネットブラウザーに依存します）、および対応する時間間隔のしきい値を表示しています。

つのグラフとしてライブ データを表示する方法 :

- 1 [チャネル] タブから、「マイ チャネル」エリア内で、表示したい 1 つのチャネルを選択してください。
- 2  [表示] をクリックします (またはその選択済みのチャネルのラインをダブルクリック)。これでそのラージ チャネルビューが開かれます。

この画面内で、直近の履歴傾向を表示することができ、より詳細な読み取り値を特定のポイント上でマウス ポインターをポイントすることで表示させます。

ラージ チャネル ビューでのグラフの読み取り

1 つのチャネルを開いている場合、そのロガー読み取りの数値表示およびグラフィカル表示の両方の読み取りが可能です。以下はこのグラフ描画エリア内の主要な要素の説明です :

アイテム	説明
タイトル バー	アクティブなロガーの名前およびデータ読み取りのタイプ (湿度、温度、電圧または電流) を表示します。
ヘッダー バー	直近の読み取りの日付および時刻を表示します、ここでのタイム ゾーンはこのブラウザが実行されている PC のタイム ゾーン設定に依存します。
数値表示エリア	ユーザーにより定義済みの単位で、直近のデータ値を表示します (変更するには「温度測定単位の優先項目の選択」、ページ 70 ページをご参照ください)。
グラフ エリア	データ履歴のグラフィカル表示がここに表示されます。
左側 Y- 軸	このグラフ内で表示されるデータのスケールを表示します。

表 3: ラージ チャネル ビューの各要素

アイテム	説明
X- 軸 時間のスケール	レポート時間フレームを表示します (Internet Explorer 6.0 をご使用の場合には、最後の 300 データ ポイントのみが表示されます、すべてのその他のブラウザは最後の 1000 ポイントを表示します)。
チャンネルのライン	特定の日付または時間フレームに基づく履歴測定読み取り値を表示する 1 つのラインにより示されます。特定のポイント上にマウス ポインターをポイントして、X- 軸および Y- 軸の数値を表示することができます。
しきい値ライン	履歴しきい値を表示する色付きのラインにより表示されます (しきい値設定に基づきます)。マウスを移動しながら、特定の X- 軸および Y- 軸の数値を表示するために特定のポイント上でマウス ポインターをポイントさせます。
アクティブなアラーム エリア	アクティブなアラームの詳細の表示: しきい値とその超過した量、アラーム日付および時刻、該当するアラームの受信確認状態、およびその確認したユーザー。ユーザーが 1 つのアラームを受信確認することを許可します。
状態バー	チャンネル監視状態を示します (OK またはアラーム条件タイプ)。

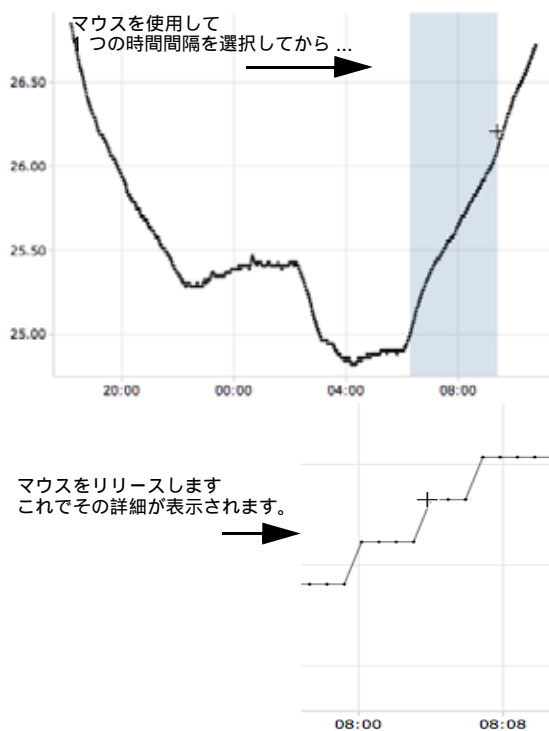
表 3: ラージ チャネル ビューの各要素

ラージ チャネル ビュー内でのグラフ 詳細の表示

ラージ チャネル ビュー が開かれていると、特定の時間間隔での拡大も可能です。

そのグラフ上のいずれかの場所をクリックして、カーソルを右側にドラッグして拡大したい時間間隔を反転表示させて、リリースします。この拡大済みエリア表示は次のライブ更新まで表示されます。直ちにフル ビューに復帰するには、このグラフ上の任意の場所をダ


ブルクリックしてください (また拡大するには、1つのエリアを選択肢、左にカーソルをドラッグしてから、リリースします)。



ラージチャンネルビューからのアラームの受信確認

ラージチャンネルビューウィンドウから、アラームを受信確認できます。

ラージチャンネルビューからのアラームの受信確認の方法：

- 1 ラージチャンネルビューの「アクティブなアラーム」パネルから、【受信確認】をクリックします。
- 2 現れた【アラームの受信確認】ダイアログボックス内に、現在のアラーム状況の修正のために実行された操作を説明する情報を入力するか、または一般的なコメントを入力するかしてください。
- 3 【受信確認】をクリックしてください。

チャンネル カラムの整理

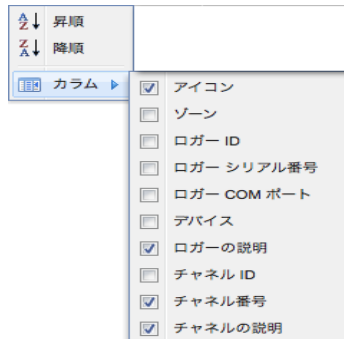
「マイ チャンネル」内での表示順序の再並び替え方法：

- 1 「マイ チャンネル」エリア内の [チャンネル] タブから、黒色の [オプション] ボタンが現れるまでいずれかのカラム ヘッダー上にてマウス ポインターをポイントさせます。
- 2 このボタンをクリックして、[昇順で並べ替え] または [降順で並べ替え] を選択するか、または目的とするカラムを利用していずれかのカラム ヘッダー上をクリックすることですべての行を並び替えするかします。逆の順で一覧の再並び替えするにはもう一度クリックしてください。

チャンネル カラムの非表示および表示

「マイ チャンネル」内でのカラム非表示の方法：

- 1 「マイ チャンネル」エリア内の [チャンネル] タブから、いずれかのカラム ヘッダーの上にてマウス ポインターをポイントさせてから、黒色の [オプション] ボタンをクリックします。



- 2 [カラム] を選択してから、表示したいカラムを選択するか、または非表示にしたいカラムの選択を解除します。例：アラーム状態を表示する色付きアイコンを持ったカラムを表示するには、[アイコン] をクリックします。



- 3 その一覧の外側をクリックするか、または [Esc] を押してそのオプションの一覧を非表示にします。

ここではチャネルがどのように機能するかを見てきました - これからはどのように アラームの受信確認 を実行するのかを見ていきます。

第章：アラーム

アラームおよびアラーム受信確認は、パイサラ ベリテック継続的監視システムでの成功へのカギの 1 つです。

この章における学習事項：

- viewLinc 内でのアラームのタイプの理解
- アラーム テンプレートの作成
- しきい値および通信アラームの設定
- アラームの非アクティブ化および再アクティブ化
- アラームの受信確認
- アラームの一時停止

アラーム レポートの生成方法について学習するには、以下をご参照ください第章：レポート。

アラームの取り扱いについての学習を始めます。

アラームについて

「フル コントロールを持つユーザー」、「アラームの構成」、および「カスタム化しきい値の構成」のアクセス許可でアラーム制限値を設定可能であり、諸条件がこれらの制限値を超過した時、該当条件の主要な職員に通知するアラームがトリガーされます。「アラームの受信確認」のアクセス許可またはそれを越えるアクセス許可を持つ職員が、それに続いて viewLinc でアラームの受信確認を実行します。すべての処理は「イベント ログ」および「履歴データベース」内に記録されています。

viewLinc 内のいくつかのアラームの種類：しきい値アラーム、通信アラーム、イベント ログ検証アラーム、およびロガー サンプリングアラーム。検証可能なロガーを使用されている場合には、ロガー検証アラームおよび校正アラームをも受信することとなります。

viewLinc を使用して、[システム] | [ロガー] タブから構成することで、しきい値、通信およびロガー アラーム用に発行されるアラーム情報のカスタム化が可能です。

しきい値アラーム

しきい値アラームは、諸条件（温度および相対湿度など）が許容制限値を逸脱した時にユーザーに通知するものです。

デフォルトではしきい値アラームは有効化されていません。特定のしきい値が超過した場合にしきい値アラームをトリガーするには、割り当て済みのアクセス許可を持つユーザーがこれらを構成する必要があります。

通信アラーム

通信アラームは、1 つのホスト（ロガー ホストまたは viewLinc サーバー）および該当するデータ ロガー間での通信が停止した時にユーザーに通知するものです。これは viewLinc サーバーが該当するロガーと通信できないか、または該当するデータ ロガーの 1 つのホストへの接続が切断されていることが考えられます。通信アラームは、viewLinc の監視およびアラーム実行を中断する問題がある場合に警告を発するシステム健全テストとしても機能しています。

イベント ログ検証アラーム

1 つの「イベント ログ検証」アラームは、viewLinc イベント ログ履歴データが変更されているか、または改ざんされているかしておりは検証可能ではないことを示しています。

ロガー構成アラーム

「構成アラーム」を受信した場合、これは、ご使用のデータ ロガーがデータ履歴の記録を停止しているか、または正しくなく構成されたことを示しています。これは、データ満杯でのシステム停止の結果、遅延した開始、または該当のロガーに 1 つの内部エラーがある可能性があります。このアラームは、Spectrum または vLog ソフトウェアを使用して該当のロガー内で 1 つのチャンネルが無効化された場合にトリガーされることも可能です。この問題の修正には、vLog ソフトウェアを使用して該当するバイサラ ベリテック データ ロガー設定を検証または変更することができます。この問題が解決しない場合には、担当のバイサラ技術担当者に連絡してください。

ロガー検証アラーム

VL- タイプのデータ ロガーをご使用の場合は、該当ロガー内の検証メモリが破損したか、または変更されてしまった場合に「検証アラーム」を受信するようになります。担当のバイサラ技術サポート担当者にご連絡ください。

ロガー校正アラーム

VL- タイプのデータ ロガーをご使用の場合は、ご使用のデータ ロガーが校正時期である場合に断続的な通知を送信します。受信する通知の時間間隔: 校正日に先立ち 3 か月および 1 か月前、それから該当のデータ ロガーのスケジュール済み校正日に再度。このアラームは、該当のロガーが再校正されるまでアクティブに保持されるようになります。

アラームがトリガーされると何が起きるのですか？

アラームがトリガーされた場合の発生事項 (担当の管理者により設定される構成に依存します):

- ポップアップが現れて、該当条件の説明を表示し、1 つのアラーム メッセージを表示します。ご使用のブラウザでポップアップがブロックされる場合には、1 つのエラー メッセージが現れて、viewLinc 用のポップアップを有効化するようにとのダイアログが表示されます。
- 1 通の電子メールを送信可能です。構成済みである場合、しきい値制限値を超過した、通信が中断された、または 1 つのイベント ログまたはロガー アラーム条件が存在している場合に、該当する (複数の) 指定済みの電子メール アドレスに自動的に電子メールを送信することができます。アラーム電子メールは、アラーム プロパティの設定方法に従って繰り返し送信することが可能です。

- 1つのアプリケーションを起動するか、1つの外部デバイスをオンにすることが可能です。構成済みである場合、1つの外部デバイス（ライトまたはブザーなど）または1つのコンピューターアプリケーション（特定の電話番号へのメッセージ送信または電話発信を可能にするバッチファイルなど）が1つのアラーム条件の発生したときにトリガー可能です。
- 上記のすべて。担当の管理者も実行可能ですが設定することも可能です、これは指定された時間フレーム以内に最初の通知が受信確認されなかった場合に別の個人に通知を行う方法です。

アラームは viewLinc 内で受信確認されるべきであり、その状況はできるだけ速やかに処置される必要があります。すべての処理は「イベント ログ」および「履歴データベース」内に記録されており、「イベント ログ」または「アラーム レポート」内で表示させることができます。

アラームの受信確認

すべてのユーザーはアラームを受信することが可能ですが、正しいアクセス許可を付与されたユーザーのみがアラームの受信確認が可能です。


つのアラームがアラームの受信確認を要求するように設定されている場合、アラームは受信確認させる必要があります。アラームを受信確認するには、viewLinc にログインしている必要があります。

実行された操作およびあらゆるコメントなどの受信確認情報は、「イベント ログ」および「履歴データベース」内において追跡されています。詳細については、第章: イベントおよび 第章: レポートをご参照ください。

つのアラームがトリガーされた時、[アラーム] タブに1つの新しい行が現れます。

このセクションは、[アクティブなアラーム] タブを使用したアラームの受信確認を取り扱っています。1つの「ラージ チャネル ビュー」からアラームを受信確認することも可能です（「ラージ チャネル ビューからのアラームの受信確認」、ページ 14 をご参照ください）。

アラーム タブからのアラームの受信確認の方法:

- 1 [アラーム] | [アクティブなアラーム] から、対象の [アクティブなアラーム] を選択してから、 [受信確認] をクリックします。

- 2 [アラームの受信確認] のダイアログ ボックスが現れて実行された操作およびコメントの入力するよう確認してきます。



The screenshot shows a dialog box titled "アラームを受信確認する" (Confirm Alarm Reception). It has a close button (X) in the top right corner. The dialog contains three input fields: "実行された処置:" (Action performed), "事前構成済みコメント:" (Pre-configured comment), and "コメント:" (Comment). The "コメント:" field is a large text area with a scroll bar. At the bottom of the dialog are two buttons: "受信確認" (Confirm) and "キャンセル" (Cancel).

- 3 [受信確認] をクリックしてください。入力されたコメントおよび操作は「イベント ログ」内に追加され、[アラームの受信確認] ボックスが閉じられます。「マイ チャネル」が状態内でのこの変化と共に更新されることとなります。

第章：アラーム

第章：イベント

すべてのイベント - アラーム、データ ロガーからのデータの転送、アラームの受信確認、システム構成の変更および一般的システム通知など - これらはイベント タブ内の viewLinc のイベント ログ内で追跡されています。

「イベント」内で追跡されたデータは、データ・ロガー内で追跡されたデータとは異なっています。viewLinc イベント ログは、対象の viewLinc システム内で発生しているイベントを追跡すると共に (1つのロガーから 1つの格納済みローカル ディレクトリへ正常な転送の通知など)、そのデータ ロガーは自身で温度、相対湿度または電圧の変化を追跡します。

viewLinc が継続的にイベント履歴を監視および格納することを確実にするために、その viewLinc イベント ログが変更されている場合にはイベント ログ検証アラームが通知します。イベント ログ検証アラームについての詳細は、第章: アラーム をご参照ください。

何時何処で特定の問題が発生したかを特定するため、またはトラブルシューティングを必要とする 1つの状態を診断するために、[イベント] タブを使用してイベントを分析します。

このセクションにおいての学習事項:

- イベントの表示
- イベントへのコメントの追加
- イベント ログの印刷
- .xls 形式へのイベント ログ データのエクスポートおよび保存

イベントの表示

イベントは、ご使用のシステム上のデータ ロガーで発生しているすべてのシステム イベントのテキスト ベースでのリストである、1 つの「イベント ログ」上で表示されます。

イベントの表示方法：

- 1 viewLinc から、[イベント] をクリックします。「イベント ログ」が現れ、各イベントの 1 つのリストを表示し、利用可能な場合は、「イベントの詳細」からそのイベント リストの右側に該当イベント上にコメントが表示されます。
- 2 日付および時刻セレクターを使用して、イベントを表示させたい時間間隔を選択してください。1 つの日付を入力するか (MM/DD/YYYY HH:MM の形式を使用) またはカレンダーを使用して 1 つの日付範囲を指定するかしてください。




- 3 日付および時刻セレクターの右側のボタンを使用し、各ボタンを選択または選択解除してイベントの詳細の特定タイプを表示するようにします。利用する結果をフィルターするために 1 つのイベント タイプ ボタンを選択した後、🔄 [更新] をクリックして対象のリストを更新します。より多くのボタンの数を選択解除すると、表示されるリストはより短くなります。表示可能な選択項目：
 - アラーム イベント。特定の時間間隔の間にトリガーされた各アラームのリスト。
 - 管理者イベント。ViewLinc へのログインおよび新しいアラームしきい値設定など、実行された管理者操作の 1 つのリスト。
 - 転送イベント。特定の時間間隔の間に実行されたロガーデータ転送のリスト。
 - システム イベント。構成オプションへの変更のリスト、または viewLinc サーバーおよびデータ ロガー間でのあらゆる失敗した通信の試行。

イベントへのコメントの追加

つのイベントの発生理由の概略または 1 つのイベントや問題への応答で実行された事項など、「イベント ログ」にコメントを追加したい場合が考えられます。

「イベント ログ」へ 1 つのコメントを追加する方法：



- 1 viewLinc から、[イベント] をクリックします。
- 2 そのコメントに追加する対象の行（イベント）を強調表示させて、【コメントの追加】をクリックします。「イベントへのカスタムコメントの追加」画面が現れます。



- 3 使用するコメントを入力してから、[保存] をクリックします。
- 4 つの特定イベントのついでに 1 つのコメントを表示するには、対象のコメントを含んでいる行を強調表示させて、その「イベントの詳細」エリア内の対象コメントを探します。

イベント ログの印刷

イベント ログの印刷方法：

- 1 viewLinc から、[イベント] をクリックします。
- 2 印刷対象としたい日付および時刻を選択します。[日付 / 時刻] ボックス内に、日付および/または 24 時間表示で時刻を入力するか、またはカレンダー アイコンをクリックして選択を実行します。
- 3 日付および時刻セレクターの右側の各ボタンを使用して、「アラーム イベント」、「管理イベント」、「転送イベント」および/または「システム イベント」のいずれかを含めるか、含めないかを選択してください。
- 4 【更新】をクリックします。
- 5 【印刷】をクリックします。

- 6 新しいブラウザ ウィンドウ内で、プリント用の「イベント ログ」レポートが開かれます。

イベント ID	発生時刻	メッセージ	カテゴリ	状態	アラーム コントロール	アラームの優先度	アラームのメッセージ	コメント
126	Wed Feb 16 12:48:18 JST 2011	アラームがトリガされたアラーム: 警報が送信されました。	alarm	警告	アラーム コントロール	高	警報が送信されました (2011-02-16)	
127	Wed Feb 16 12:48:18 JST 2011	ユーザー admin がシステム管理画面からのログインを試み、ユーザーが正しくないため承認されませんでした。ユーザーがシステム管理画面からログインを試み、ユーザーが正しくないため承認されませんでした。	alarm	警告	アラーム コントロール	高	ユーザーがシステム管理画面からのログインを試み、ユーザーが正しくないため承認されませんでした。	
128	Wed Feb 16 12:48:18 JST 2011	ユーザー admin がシステム管理画面からのログインを試み、ユーザーが正しくないため承認されませんでした。	alarm	警告	アラーム コントロール	高	ユーザーがシステム管理画面からのログインを試み、ユーザーが正しくないため承認されませんでした。	
129	Wed Feb 16 12:47:58 JST 2011	ユーザー admin が Celsius Temperature (1) (対象: 1) (ID: 02946) (単位は摂氏) が 21.1°C を検知しました。現在の設定値は 20.0°C であり、この値は現在の設定値よりも 1.1°C 高いです。	alarm	警告	アラーム コントロール	高	Celsius Temperature (1) (対象: 1) (ID: 02946) (単位は摂氏) が 21.1°C を検知しました。現在の設定値は 20.0°C であり、この値は現在の設定値よりも 1.1°C 高いです。	
130	Wed Feb 16 12:47:58 JST 2011	ユーザー admin が Celsius Temperature (1) (対象: 1) (ID: 02946) (単位は摂氏) が 21.1°C を検知しました。現在の設定値は 20.0°C であり、この値は現在の設定値よりも 1.1°C 高いです。	alarm	警告	アラーム コントロール	高	Celsius Temperature (1) (対象: 1) (ID: 02946) (単位は摂氏) が 21.1°C を検知しました。現在の設定値は 20.0°C であり、この値は現在の設定値よりも 1.1°C 高いです。	

- 7 [プリント] ダイアログ ボックスが自動的に開かれ、プリントパラメーターの設定を可能にして、「イベント ログ」が印刷されます。

「イベント ログ」のエクスポート

viewLinc で後日の分析用に 1 つの保存済みの .XLS ファイル内にイベント ログ データをエクスポートすることが可能です。

イベント ログをエクスポートする方法:

- viewLinc 内で、[イベント] をクリックし、エクスポート対象としたい日付範囲を選択します。[日付/時刻] ボックス内に、日付および/または 24 時間表示で時刻を入力するか、またはカレンダー アイコンをクリックして選択を実行します。
- 日付および時刻セレクターの右側の各ボタンを使用して、「アラーム イベント」、「管理イベント」、「転送イベント」および/または「システム イベント」のいずれかを含めるか、含めないかを選択してください。
- [更新] をクリックします。
- [エクスポート] をクリックします。「ファイルのダウンロード」ダイアログが開かれ、対象のイベント .xls ファイルを開くかまたは保存かを確認します。

第章：レポート

viewLinc を使用して、パイサラ ロガーにより収集された履歴データ上で時間基準でのデータの各変動を分析するグラフおよびレポートが作成可能です。

この章において、履歴データの意味とその使用方法について学習します：

- 履歴データの分析
- グラフィカルおよびタブ形式での履歴データ レポートの生成



履歴データについて

バイサラ データ ロガーは、それらの内部に膨大なデータの量を格納する能力を保有しています。データは、10 秒間毎に 1 回から 24 時間毎に 1 回までの頻度でログされます。この頻度の設定には -- これは サンプル時間間隔と呼ばれており -- バイサラ ベリテック ロガーについては、『Spectrum ユーザー ガイド』または『vLog ユーザー ガイド』をご参照ください。300 シリーズ送信機用にサンプル時間間隔を設定するには、「電子メール設定の構成」、ページ 61 をご参照ください。

viewLinc により、対象ネットワーク上のロガーについてリアルタイムでの監視が可能であり、時間軸にわたる諸条件のグラフでの変化、または異なったロガー間で記録された各条件を比較することが可能です。この分析は、[レポート] タブを使用して実行されます。

履歴データ レポートの生成

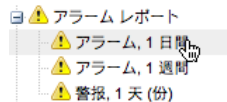
viewLinc は、データ読み取りまたはアラーム監視の統計 (アラームトリガーの頻度など) で簡単に傾向の表示を支援可能なグラフィカルレポートのセットを提供しています。

-  「アラーム」レポートは、時間軸にわたるアラーム イベントの 1 つの概説を提供しています (イベント アラーム関連したイベントが一緒にグループ化され、1 つの読み取り可能なフォーム内に提示されています)。
-  「チャンネル履歴」レポートは、チャンネル値の 1 つの詳細な履歴を提供しています (グラフィカル フォームおよびタブ形式フォームの両方で提示されます)。

アラーム履歴レポートの生成

「アラーム履歴レポート」生成の方法：

- 1 [レポート] タブ上の [アラーム レポート] リスト内で、生成しようとするレポートを選択してください。



レポート パラメーターは、ご利用の画面右側上に現れます (ユーザーは、それぞれが生成しているレポートの各レポート パラメーターが、または所有者アクセス許可を供与されているレポートのみを閲覧できます)。

- 2 **[全般]** タブ上で、このレポートを変更または生成するためのアクセス許可を所有させたいユーザーを選択し、そのデフォルトオプション、**[直近のイベント]**、または特定の日付範囲を使用してそのレポートに含ませたい期間を指定できます。1つの固定データ範囲を選択された場合は、カレンダーを使用して開始/終了日付を指定してください。


注意: 管理者アクセスを所有されている場合、このレポートを変更または生成するアクセスを所有させたい対象のユーザーに「レポート所有者」を選択することができます (ユーザーのリストを設定するには、「ユーザー アカウントの作成」ページ 67 をご参照ください)。

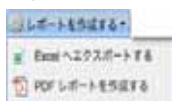


- 3 **[一般]** タブの「スケジュール済み生成」エリア内で、ご使用のレポートの形式 (PDF または Excel 用のタブ区切り) を選択して自動的にこのレポートを生成し 1つの特定のファイル場所に保存するか、またはそのレポートを 1つの電子メールアドレス宛にまたは 1つのアドレスのリスト (コンマを使用して電子メールアドレスをコンマで区切られた) 宛へ自動的に送信可能です。いつそのレポートを生成したいか、またどのくらいの頻度で生成したいかをスケジュールすることも可能です。

注意: 大サイズのレポート データのセットについて、より少ない数のユーザーがこのシステムを利用している時、すなわち営業時間後などに、レポート生成をスケジュールされることを推奨しております。

- 4 **[レポート内容]** タブ上で簡潔なレポート (アラーム毎に 1行を割り当て) または詳細なレポート (すべてのアラーム事象についての詳細の表示: アクティブ化、通知、受信確認、その他) のいずれかを決定してください。
- 5 **[レポートソース データ]** タブ上で、そのレポートのスコープを定義してください。すべてのチャンネルからのアラーム レポート

- の詳細を含ませるのには、[すべてのチャンネル]を選択してください。特定のチャンネルおよびゾーンを選択することも可能です：
- a その [オプション] を選択して、[選択済みチャンネルおよびゾーン] を選択します。
 - b 1つのゾーン内で1つ以上のチャンネルを選択される場合には、その [ゾーン名] (チェックボックス) を選択してください。
 - c 1つのゾーン内で1つの特定のチャンネルを選択される場合は、その [チャンネルの説明] (チェックボックス) を選択してください。
 - d これらのステップをそのレポート上に含ませたいチャンネル毎に繰り返してください。すべての選択済みチャンネルは「選択済みゾーン」領域内に現れます。
- 6 [ページ レイアウト] タブ上で、ご使用のレポート表示オプションを定義してください：
- a ページ ヘッダーおよび/またはページ フッターの各オプション：その ページ上に1つのヘッダーまたはフッターを表示させたいページを選択してください。そのヘッダーまたはフッターを定義されるには、テキストをその「左側」、「中央部」または「右側」のフィールド内に入力してください。
 - b 印刷したい印刷用紙のサイズ、および方向を選択することも可能です。
- 7  [保存] をクリックします。
- 8 そのレポートを手動で生成するには、[レポートの生成] から、**[Excel へのエクスポート]** または **[PDF レポートの生成]** を選択してください、



チャンネル履歴レポートの生成

チャンネル履歴レポートの生成の方法：

- 注意： viewLinc では、いかなるデフォルトのチャンネル履歴レポートも提供していません。代わりに、当初に1つの「チャンネル履歴レポート」を生成されると、そのレポートが自動的に保存されます。

- 1 [レポート] タブ上の [チャンネル履歴レポート] リスト内で、生成しようとするレポートを選択してください。そのレポートの詳細がその画面の左側上に現れます。
- 2 [一般] タブ上で、このレポートに対してアクセス件を付与したいユーザー（これはまだ「フルコントロール」を付与されていない場合です）、および1つの特定データ範囲か、または直近のデータを基にしたその範囲タイプデータを指定してください。
- 3 「スケジュール済み生成」エリア内で、ご使用のレポートの形式 (PDF または Excel 用のタブ区切り) を選択して自動的にこのレポートを生成し1つの特定のファイル場所に保存するか、またはそのレポートを1つの電子メール アドレス宛にまたは1つのアドレスのリスト (コンマを使用して各電子メール アドレスをコンマで区切られた) 宛へ自動的に送信可能です。いつそのレポートを生成したいか、またどのくらいの頻度で生成したいかをスケジュールすることも可能です。



注意: 大サイズのレポート データのセットについて、より少ない数のユーザーがこのシステムを利用している時、すなわち営業時間後などに、レポート生成をスケジュールされることを推奨しております。
- 4 [レポート内容] タブ上で、「ロガー サンプル」(該当データ ロガーの内部メモリから取得済みのデータ ポイント)、「ロガー サンプル統計」(これは [統計設定] タブ内での [統計設定] の変更を可能にする)、「リアルタイム サンプル」および/または「しきい値」を含んでいる、データのタイプを識別してください。
- 5 「ロガー サンプル統計」を含めている場合は、[統計設定] タブを使用してどのように使用するレポート上で情報が表示されるか、およびそれに含めたいあらゆる統計的情報を定義してください。
 - a [統計設定] から、1つのレポートの時間フレーム内で継続的に統計を生成されたい場合には1つの統計時間を選択してください。たとえば、7日間(1週間)の時間間隔を基準にご利用のレポートが生成される場合で、統計データを毎日表示されたい場合が考えられます。
 - b 「包含される項目」のエリア内で、最大値、平均値、最小値、標準偏差および平均動態温度 (MKT) を含んだ統計データのタイプを選択してください:
 - その活性化エネルギーを指定したい場合は、「平均動態温度」を確認し、[KJ/mol] 単位表示で活性化エネルギーを指定してください。
- 6 [レポートソース データ] タブ上で、そのレポートのスコープおよび色スペクトルを定義してください。すべてのチャンネル上でレ

ポートを実行するには、[すべてのチャンネル]を選択してください。特定のチャンネルおよびゾーンを選択することも可能です：

- a その [オプション] を選択して、[選択済みチャンネルおよびゾーン] を選択します。
- b つのゾーン内で 1 つ以上のチャンネルを選択するには、そのゾーン名を選択してください。
- c つのゾーン内で 1 つの特定のチャンネルを選択される場合は、そのチャンネルの説明チェックボックスで選択してください。
- d そのグラフに目次を追加するには、[マーカーの表示] を選択します。
- e 特定のチャンネルのデータを強調表示する色を指定するには、そのチャンネルを選択してから、[色] ドロップダウンリストから 1 つのオプションを選択します。[自動] を選択している場合、viewLinc はそのデフォルト色スペクトルに従って色を選択します：



- f そのチャンネルライン色が「自動」に設定されている場合、viewLinc は色の組み込みパレットから次に利用可能な色を割り当てます (この色スペクトルシーケンスについては、ページ 103 をご参照ください)。これらをそのレポート上に含ませたいチャンネル毎に繰り返してください。すべての選択済みチャンネルは「選択済みゾーン」領域内に現れます。

- 7 [ページ レイアウト] タブを使用して、ヘッダー、フッター、用紙サイズおよび印刷方向を定義してください。
 - a ヘッダーまたはフッターのオプションについては、すべてのページ上、最初のページ上のみ、最後のページ上のみ、または最初および最後のページ上のいずれかを設定可能です。
 - b ご使用のヘッダーまたはフッターの内容を定義されるには、テキストをその「左側」、「中央部」または「右側」のフィールド内に入力してください。
 - c 印刷したい対象の用紙サイズ、およびその方向を選択することも可能です。
- 8  【保存】をクリックします。
- 9 そのレポートを手動で生成するには、 【レポートの生成】 をクリックしてください。

第章：レポート

目次

シンボル

「マイ チャンネル」9

数字

1つのアラームの受信確認 14, 20

300 シリーズ送信機
出力の数 8

E

Excel レポート 29, 30, 31

I

Internet Explorer
設定 11

M

Microsoft Excel
viewLinc イベント ログおよび 26
ログのエクスポート先 26

P

PDF レポート 29, 30, 31

V

viewLinc
システムの概説 2
セキュリティ オプション 4
チャンネル
「マイ チャンネル」内での表示
4, 8
ログイン 3

X

xls ファイル 26

あ

アクティブなアラーム
表示 13
アプリケーションまたはデバイスの起動 20

アラーム 17-21

アクティブ
表示 13

しきい値 18
ツリー階層 20

ロガー 19
構成 19

ロガー校正アラーム
定義済み 19

検証 18

受信確認 14, 20

通信 18

電子メール通知 19
複数の通知 20

アラーム トリガー

アプリケーションの起動または
操作 20

アラームの実行状態、定義済み 10

い

イベント 26
コメントの表示 25

イベント ログ
エクスポート 26
コメントの追加先 25
印刷 25
表示 24
保存 26

イベント・ログ 23

え

エクスポート
イベント ログ 26

く

グラフ
読み取り 11
表示 11

こ

- コメント
イベント ログへの追加 25
表示 25

さ

- サンプル カウント 31

し

- しきい値、読み取り 13
- しきい値アラーム
定義済み 18
- しきい値のサマリー、定義済み 10
- システムの概説、viewLinc 2

せ

- セッション有効期限 4

そ

- ゾーン
表示 9

た

- タイムスタンプ 10
- タブ バー 9

ち

- チャンネル 7-16
 - 「マイ チャンネル」内での表示 4, 8
 - グラフの読み取り 12
 - 開く 11
 - 出力の数 8
- チャンネルの説明
定義済み 10
- チャンネルの値
定義済み 10
読み取り 13
- チャンネル番号 10

は

- パスワード
セッション有効期限後の再確認 4

へ

- ヘルプ 5

ほ

- ポップアップ
アラーム用 19

ゆ

- ユーザー アカウント
ログイン 3

ら

- ラージ チャンネル ビュー
グラフの読み取り 11
閉じる 11
- ラージ チャンネル ビューを開く 11
- ラージ チャンネル ビューを閉じる 11

れ

- レポート 27
 - Excel 29, 30, 31
 - PDF 29, 30, 31
 - タイプ 28
 - 色 32
 - 生成 28, 30

ろ

- ロガー
 - 検証アラーム 19
 - 校正アラーム 19
 - 構成アラーム 19
- ロガー検証アラーム
定義済み 19
- ロガー構成アラーム

- 定義済み 19
- ログ、イベント。イベント ログを参照。
- ログイン画面 3
- わ**
- ワークシート、イベント ログ データの格納場所 26
- ん**
- 印刷
 - イベント ログ 25
- 技術サポート 5
- 検証アラーム
 - 定義済み 18, 19
- 校正アラーム 19
- 構成アラーム
 - 定義済み 19
- 最小値 31
- 最大値 31
- 出力の数 8
- 出力の数、「チャンネル」をご参照ください 8
- 状態バー、定義済み 10
- 色
 - レポート用に選択 32
- 色の使用
 - レポート用 32
- 設定
 - ブラウザ設定 11
- 送信機
 - 出力の数 8
- 通信アラーム
 - 定義済み 18
- 通知
 - 校正 19
 - 複数 20
- 電子メール通知 19
- 統計時間間隔 31
- 統計設定 31
- 読み取り
 - グラフ
 - レンジ チャンネル ビュー内 12
 - しきい値 13
 - チャンネル値 13
- 標準偏差 31
- 表示
 - アクティブなアラーム 13
 - イベントのコメント 25
 - チャンネル 11
- 平均値 31
- 平均動態温度 (MKT) 31
- 履歴データ 2, 27
 - 表示 11
 - 目的 28

目次